

## 策定の趣旨

大分市教育委員会は、「Society5.0 時代においても、夢や希望をもち「生きる力」を育むたくましい子どもの育成」を目的として、2021年度（令和3年度）に「大分市立学校教育情報化推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定し、5年間に渡り本市の教育情報化を推進してきました。

現在の「推進計画」が、2025年度（令和7年度）に期間満了を迎えること、また、生成AIをはじめとした次世代学習や情報活用能力の重要性が注目される中、次期学習指導要領の改訂においても、教育の情報化に関わる内容の一層の充実が図られる方向性であること等を踏まえ、これまでの取組の成果と課題を分析し、国及び県の動向も勘案して、次期の指針となる「大分市立学校教育情報化推進計画 2028」（2026年度（令和8年度）～2028年度（令和10年度））を策定します。

### 教育情報化推進計画 2028 の目的

Society5.0 時代を見据え、他者と協働しながら、豊かな人生を切り拓く子どもの育成

## 基本方針 1

### 子どもたちの情報活用能力の育成

#### (1) ICT を活用した多様な方法による情報活用能力の育成

- ・小中のつながりを意識した年間指導計画の活用を促し、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力の育成を図ります。
- ・大分市立学校で取り組んだ実践を基に全体計画例・年間指導計画例を改善し周知することで、プログラミング教育の目的及び趣旨を踏まえた授業を推進します。
- ・情報モラル・情報セキュリティに関する児童生徒からの相談を受けた際の対処法や、デジタル・シティズンシップ教育を推進できるよう、各学校に教材等の情報提供を行います。

#### (2) 先端技術を活用した新たな教育の推進

- ・一人1台端末や電子黒板、クラウドツール等のデジタル学習基盤を活用した学びの在り方や学習場面における効果的な活用方法、家庭学習における活用事例について、教員研修等を通じ各学校に発信していきます。
- ・多様な人々とのつながりを実現する学習、他校との交流、教科の学びを深めるなど、個々の児童生徒の状況に応じた指導を行うために、遠隔教育を推進します。

## 基本方針 2

### 教員の ICT 活用指導力の向上

#### (1) 学校活動における教員の ICT 活用指導力の向上

- ・各教科等において、一人1台端末等ICTを効果的に活用できるような授業づくりに関する研修を行い、教員のICT活用に関する知識、技能の向上を図ります。
- ・教育情報化推進担当者研修、情報モラル・情報セキュリティ研修に加え、希望者に向け夏季研修や放課後講座を行うなど、学びの機会を設けます。
- ・ICT支援員等が、ICT機器やクラウド環境を活用した教員の校務と授業を支援します。

## 基本方針 3

### 教育の情報基盤の整備

#### (1) 子どもの学びを支える環境整備

- ・学習環境と教育の質の向上に向けて、一人1台端末や電子黒板等をより有効に活用できるための環境整備に努めます。
- ・不登校児童生徒や不登校傾向にある児童生徒の学力保障・進路実現に向け、遠隔会議システムやメタバース空間を利用した双方向の学習支援や進路指導など、一人1台端末を活用した指導・支援の充実を図ります。
- ・統合型校務支援システムを安定的に運用し、校務の情報化及び教員の働き方改革を推進します。

## 基本方針 4

### 教育の情報化に向けた体制整備

#### (1) 教育情報化の組織的な推進

- ・校長を「学校CIO」と位置付け、「教育情報化推進担当者」及び「学年担当者」を決定するなど、校内推進組織の定着を図るとともに、学校の組織的な教育情報化を推進します。
- ・国の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインや、県のセキュリティポリシーの改定を踏まえ、「大分市立学校における情報セキュリティの基本方針」及び「大分市立学校における情報セキュリティ対策基準」を改定し、周知徹底を図ります。

#### (2) 市民の理解と関心の増進

- ・学校ホームページの作成等に係る研修を実施し、一層の充実を図ります。